

雜 報

第一 干潮と血壓との關係

松山市 牧野武喜

潮の満干が重症瀕死に於ける患者の生命に直接或る關係を有するてふ事は古來より本邦に傳はる所の説なり是に對して研究を拂ふべき事は醫人として幾分の興味なき事能はず故に余は先年松山病院在職の當時聊か是が研究に従事せし事ありしを以て茲に是を發表して汎く諸賢の參考に供せんます。

論 說

抑も物體なるものは其の分子の集合より成り各分子は交互間に於ける引力強弱の度合によりて三體に區別せらるる固體、液體及び氣體是なり而して固體は其の分子間の引力強固なるが故に外力によりて變形する事難きも液體にありては引力弱きが爲に動搖し易く瓦斯體に至りては擴散の性を有す今躡つて宇宙間の天體を觀察するに天體にありても亦交互の引力に由りて各異の位置を保持して永久曾つて變換する事なし即ち各天體は各異の太陽系を組織して一定の軌道を廻轉す吾人が棲息する所の地球も亦太陽を中心として是を廻轉する事他の星體と異らず而して地球には一の遊星ありて恒に是に隨伴す之を月と稱す而して地球は單に太陽の周圍を廻轉するのみならず又自軸を廻旋す其の結果として春夏秋冬及び晝夜の別を生ず。

四季の氣候が如何に吾人の生活状態に影響を及ぼすかは衛生學及び治療學に於て既に十分説破する所なり故に致て茲に喋々論すべき要なし然るに月と地球との間に於ける引力が人類の健康上に重大なる關係を及ぼす事に就ては吾人は未だ之を醫界の報告に聞かず眞に奇と稱すべきなり。

月が吾人に對する任務の一は洵に潮流を起すにあり之によりて海水に新陳代謝を惹起せしめて汚物の停滯を清淨する事は誠に感謝すべき自然の妙なりと雖之と同時に地球の氣壓に對して變化を起す事は亦忘却すべからざる要件なり而して氣壓なるものは元來空氣の重量なりと雖其の内に含有せらるる所の塵埃及び水分も亦一定の關係を有するものなり然りと雖茲には假に大氣のみの重量として是を説明せんます如何となれば水分等の附加は論議をして繁雜ならしむるが故なり而して空氣の壓力が吾人の皮膚に普及せしむる所の影響の大なる事は既に世上一般周知の事實なり例へば高山に登り或は氣球によりて遠く上昇して地上を去る時吾人は瓦斯交換障礙と同時に起る皮膚及び粘膜に於ける生理的狀態の變化即ち異常(高山病)によりて明かに之を證明する事を得べし。

月が吾人の地球に對して氣壓に關係を及ぼす事は其の引力に原因するものにして引力の強弱に應じて地球上の氣壓には時に増減あり同時に海水にも潮流を起す所以なり斯の如くして氣壓に高低を生ずる時は地球上に存在する所の物體は悉く其の影響を被らざるものなし人も亦地球上に生存する所の物體なるが故に氣壓の閥を脱する事能はず而して月の引力によりて固體は致て變形する事なきも液體及び氣體にありては其の分子間の結合力弱きが爲に動搖を起し集合するものなり故に空氣は其の密度を増加して濃厚となり海水亦其の深さを増す。

吾人の身體は是を圍擁するに表皮を以てす其の面積頗る宏大なり故に其の表面に受くる所の壓の高低は直接吾人の生活機能に大なる影響を與ふべき事は明瞭なり即ち皮膚血管の血量に對して増減を來すものなり而して皮膚血管血量の増減は直接血壓に大なる關係を來す事は生理學の教示する所なり而して壓力減退が普通健康者に對して何等の影響をも呈せざるは蓋し調節の妙存するが爲なり然りと雖重症に罹り身體衰弱して瀕死の境にあるもの

にては調節機も甚不完全なるが故に其の影響を被る事甚大なり洵に斯の如き際には退潮時に當り皮膚の壓力減ずるが爲に血液は表在に擴散して中心の血壓下降するにより脈波低く心機不活潑となり脈勢不良となる事は余が多數の危篤患者に實驗せし所によりて確實なり故に瀕死患者を看護する際には氣壓の減退時即ち退潮の時に當りて特に患者の脈勢に就て大なる注意を拂はざるべからず（余は衰弱患者に食鹽水を注入するに必ず退潮時を選ぶ所以なり）唯に退潮時のみならず Balometer 下降の際に於ても亦同様の注意を拂はざるべからず如何となれば衰弱患者は調節機能減退せるのみならず多くの場合には其の攝取する水分よりも肺及び尿より失ふ所の水分多量なるが故に血壓下降を來し遂に心臓の機能障礙を來すものなり故に斯の如き際には「カンフォル」油を注入するも何等効果を認めざるもリンゲル氏液の注入によりて初めて血壓上昇して脈勢佳良となる事は臨牀上諸氏の實驗する所なり。

然りと雖氣壓のみが瀕死者に對して影響を及ぼすものにあらす其の他の關係例へば病毒さか下利さか熱さか出血さか直接或は間接に病者を犯す所の原因は多々存在するものなるが故に氣壓の下降は單に危篤患者に對する危険なる不良作用の一と云ふに過ぎず。

退潮時の外傷及び抜齒によりて出血が比較的少量なるが如き或は此の時に植物を剪斷せば其の液汁を消失する事多大なるにより植物に對して有害なるが如き原理は皆悉く空氣の壓力減少に歸因するものなり故に衰弱患者に對しては手術も可來的退潮時には之を避くるを以て適當とす。

潮の満干を知るには舊曆にするを便とす（日本にて新曆を用ふるは實際上及び學理的面白からず）維新當時の和蘭の時計によれば朔十五日は明け暮れ六つの満潮なり故に九つは干潮なり（六つは現今の六時九つは十二時なり）是によりて計算する時は満潮は毎日四十八分宛遅れ十五日目には亦六つの滯えさなる然りと雖我が國は南北の延長頗る長く且東西に著しく傾斜するが故に經度緯度の關係上各地に於ける満干の時刻一様ならず若し詳細に此の點を知らんざ欲せば宜しく氣象臺或は測候所の専門家に就て教示を仰ぐべきものとす。

結 論

地球に對する月の引力は單に潮流を起すのみならず氣壓の關係によりて血壓に高低を生ず氣壓下り血壓低下する時は危篤患者の心機に障礙を起して脈不良となる故に退潮の際には特に重病者に向つて注意を要す然りと雖健康者にありては調節機十分なるを以て何等の影響なきものとす。

會 員 動 靜

	正七位勳六等 藤 田 秀 三 郎		正八位 饗 場 美 誠
(各通)	正七位勳六等 栗 栖 幸 穂	敘從七位	(本 年 十 三 日)
	正七位 勅使河原文		正七位 岸 本 宗 治 郎
敘從六位			從五位 池 上 馨 一
	從七位勳六等 伊 藤 彌 不 夫	敘勳六等授瑞寶章	(二 月 二 十 三 日)
敘正七位	(本 年 十 三 日)	敘從五位	正六位勳六等 上 田 長 藏
	正五位勳六等 赤 岩 八 郎		(二 月 二 十 九 日)
敘勳五等授瑞寶章	(二 月 二 十 三 日)	敘正五位	從五位勳六等 上 田 長 藏
	正八位 木 村 芳 雄		(二 月 二 十 七 日)
(各通)	正八位 有 馬 玄	吳海軍團附海軍軍醫中尉 有 馬 玄	
		免本職補鳥羽乘組	(三 月 七 日)

岡山醫科大學教授 正五位勳四等	田中文男	岡山醫科大學長 藤田秀太郎
任岡山醫科大學長 敘高等官二等		賜一級俸
岡山醫科大學長兼 岡山醫科大學教授	藤田秀太郎	岡山醫科大學長 田中文男
依願免本官並兼官		賜三級俸

(三月十四日)

- 石田堅三郎、武田俊光の兩君 既記の如く在外研究生として獨、英、米國に留學を命ぜられたる兩君は本月二十九日神戸解纜の鹿島丸にて出發せられたり
- 美馬林一君 は今般徳島縣美馬郡中平山村に移轉開業せられたり
- 正田明貫君 は今般別府市中町に移轉開業せられたり
- 甲斐義長君 は今般福岡縣遠賀郡香月村大辻病院に轉勤せられたり
- 大原孝度君 は今般日本赤十字社姫路病院を辭し歸郷せられたり
- 渡邊九郎君 は豫て愛媛縣新居郡惣閑住友病院に勤務し居られしが今般辭職同縣越智郡大三島宮浦村に轉居せられたり
- 藤原寛治君 は今般神戸市攝津病院を辭し同市中山手通三丁目原病院に於て診療に從事せられたり

山内宗生君逝く 君は明治四十一年岡山醫學專門學校を卒業し目下福島紡績徳島工場に勤務し居られしが今同其訃音に接したり洵に哀悼に堪へず

大橋潔君 は大正十二年岡山醫大附屬醫學專門部を卒業し同附屬醫院第一内科に勤務し舊臘辭職歸郷し居られしが本月六日永眠せられたりと洵に痛惜に堪へず

●**シャルコー先生生誕一百年記念會** 日本病理學會、日本內科學會及び東京醫事雜誌協會の發起にてシャルコー先生生誕一百年記念會に就き贖金を募集する爲め左記の通り檄を飛ばせり。

拜啓者々御清祥大賀申上候、扱本年は神經病學史上特記すべき佛國碩學シャルコー先生の生誕一百年に相當じ、佛國に於ては來る六月初旬巴里に於て同國政府・學士院・大學醫學部並に巴里神經學會の斡旋により盛大なる記念會を開き、此の神經病學の創始者たる偉人の記念に光榮を添ふる企劃の由にて、本邦の同學者にも國際的に此の催しに加入致すやう勸誘有之候に就ては、本邦の内科神經病科に關係深き貴下に於ても、是非御賛助を希ひ同記念會に於て本邦より何か記念品の贈呈をなし、以て祝賀記念の微意を表し度存候、就いては何卒左記事項御一覽の上御賛助御贖金の義相願度此段貴意を得候。

要 項

- 一 シャルコー先生生誕一百年記念會の贖金は一口金五圓以上に願ひ度し。
- 二 巴里へ六月初旬迄に送達すべき都合上、贖金締切は本年四月十日限の事。
- 三 送金先きは東京帝國大學醫學部精神病學教室内杉田直樹宛(振替貯金口座東京四三五七八番)のこゝ、但し入金の際は同人より受取書差出し、決算の上は贖金者へ其の報告書を發すること。
- 四 記念品の選定・贖金の處理其の他の事務は、日本內科學會役員、日本神經學會役員並に東京醫事雜誌協會理事たる實行委員に於て協議の上執行するにつき、御一任相成り度し。
- 五 佛國の記念式に記念品を贈呈する外、本邦に於ても六月頃シャルコー先生生誕一百年記念式を開催し、同學者相集りて記念の意を表すべき方法を講じ度く、その企劃に就ても亦右實行委員に御一任相成り度し、贖金の一部は此の方面にも使用するこゝあるべし。以上。

追て御送金に就ては一々振替拂込用紙封入不致候に付、便宜振替貯金により御拂込相成るか、爲替又は現金にて贖金扱人へ御届け下さるか、又は御住所御姓名贖金金額御申込下され候はば集金郵便差出し可申、何れなりとも御都合よき方法に願上候。 大正十四年三月